

皆さんは、
オオサンショウウオ
という生き物を知っていますか？





オオサンショウウオ

・特徴

①大きい * 最大記録

: 150cm

②長寿 * 記録では

最高52歳

③国の天然記念物

④準絶滅危惧種

ガソウ
巖王と呼ばれる生き物

* 岩を思わせる体から

それを研究しているのが オオサンショウウオ班

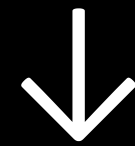
メンバー 石田侑大、石田杏、篠岡夏希

2年 1 組 林歩杜、山本祐羽、渡邊俊介

2年 2 組 芦澤沙弥香

班の目的を決めるために

1、先輩方の行ってきた発表や活動などの確認



2、実際に川に行き人工巣穴や周辺の生物の調査



3、自分たちが気づいたことなどの話し合い





結果

1、 オオサンショウオは人工巣穴ではなく別の岩と岩の間にいた、その穴の間は広く涼しくオオサンショウオも入って行ったため巣穴だと判断した。



なぜ人工巣穴ではなく自然の巣穴にいたのか？

巣穴にいいなかつたと考えられる理由

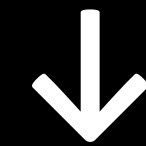
オオサンショウウオにとっての理想の巣穴環境

- 1、水深が30センチ
- 2、水温が夏でも25度を超えないような水
- 3、清流
- 4、流れが穏やか
- 5、近くに格好の餌場がある

調査している人工巣穴の現状



- 1、水がほとんど無い
- 2、入り口が塞がっている
- 3、土砂が多い
- 4、水の循環が悪い



オオサンショウオが住んでいるとは思えない

オオサンショウウオのために何かで
きないか



人工巢穴を改善しよう！！



話し合いの結果

班の目的

人工巣穴の環境改善



これからの計画

1、人工巣穴を作った養父土木事務所さんの了承を得たため

人工巣穴の土砂のかきだしをしたり土砂などが入らないように改善する。また、オオサンショウウオを定期的に観察しに行き、どのような巣穴が最適かなどを模索する。

2、ハンザキ研究所の方々にオオサンショウウオについて詳しい話を聞く。

計画を達成すると期待されること

その 1

絶滅危惧種の保護と増加

人工巣穴を改善することでオオサンショウウオの数を安定させ、増加させることに直接貢献することができる。

計画が達成すると期待されること

その 2

環境保全活動への参加促進

巣穴の維持管理やモニタリング活動（人工巣穴が適切に機能しているか継続的に評価・観察する活動）に興味を持った住民が参加することで、地域全体の環境保全意識が向上する。

計画を実行する上での課題

計画を実行する上でオオサンショウウオにとって
どのような活動をすることで最適な環境を作れる
かを検討する必要がある。

また、人工巣穴の周辺にどのような影響が出るか
をしっかりと考慮する必要がある。

*** 法律の範囲内で活動すること**